



教授
小宮 正安

コミヤ マサヤス

大学院都市イノベーション研究院 都市イノベーション部門
大学院都市イノベーション学府 都市科学部都市社会共生学(兼)科
komiya-masayasu-bw@ynu.ac.jp

【研究概要】

ヨーロッパ文化史、芸術社会史、地域研究(オーストリアを中心とする中央ヨーロッパ)、ヨーロッパにおけるツーリズムとその応用可能性について

【アドバンテージ】

ヨーロッパをフィールドに、文化(観光、多文化共生等)と芸術(音楽、建築、コレクション等)を、広く社会とのつながりの中で考察してゆくことを心がけています。研究の成果は、テレビ・ラジオへの出演や新聞・雑誌への寄稿、企画展の監修、市民講座等での講演、プログラム執筆等をはじめとして広く社会に発信しています。

【事例紹介】

- ・『東京・春・音楽祭 マラソンコンサート(古典派～楽都ウィーンの音楽家たち～)』『同(変奏曲～変容する音楽～)』『同(ロマン派～近代に生きた芸術家たち～)』
- ・『狂言風オペラ(ドン・ジョヴァンニ)』『同(魔笛)』『同(フィガロの結婚)』脚本執筆(2006-2014 企画:ヴォイスン) : 狂言とオペラの異文化融合を目指した舞台作品で、日本国内をはじめ、2011年にはドイツ各地でも公演がおこなわれました。
- ・『ウィーン・フィル・ニューイヤーコンサート2016』『同2007』(NHKテレビ)スタジオ解説
- ・『その時歴史が動いた(音楽の市民革命～神童モーツァルトの苦悩)』(2008年4月 NHK)ゲスト解説

■ 相談に応じられるテーマ

ウィーンやオーストリアを中心とするヨーロッパの文化・芸術・社会に関する知識提供、コンサートや展覧会の企画・解説・ナビゲーション、展覧会・展示会のディスプレイ、舞台芸術における異文化交流、文化・芸術・社会関係の日独翻訳、ツーリズムから文化事業に関するアドヴァイス

■ 主な所属学会

日本独文学会
日本ワーグナー協会

■ 主な著書

- 「ウィーン・フィル コンサートマスターの楽屋から」アルテスパブリッシング 2017/11
- 「コンスタンツェ・モーツァルト(悪妻)伝説の虚実」講談社選書メチエ 2017/3
- 「名曲誕生 時代が生んだクラシック音楽」山川出版 2014/3

- 「音楽史 影の仕掛人」春秋社 2013/8
- 「オーケストラの文明史」春秋社 2011/9
- 「モーツァルトを(造った)男 ケツヘルと同時代のウィーン」講談社現代新書 2011/3
- 「ウィーン 多民族文化のフーガ」大修館書店 2010/3
- 「愉悦の蒐集 ヴンダーカンマーの謎」集英社新書 2007/9
- 「ハプスブルク家の宮殿」講談社現代新書 2004/4
- 「祝祭的都ザルツブルク 音楽祭が育てた町」音楽之友社 2001/8
- 「オペラ楽園紀行」集英社新書 2001/6
- 「ヨハン・シュトラウス ワルツ王と落日のウィーン」中公新書 2000/12

■ 主な地域活動

日本フィルハーモニー交響楽団横浜定期演奏会オーケストラガイド
相模原市観光資源の見直しと課題整理・改善案の検討に関する相模原市からの委託研究